

昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度
<p>第1回委員会(7月26日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進め方についての打合せ ○ たんぱく質の重要性 島根医科大学教授 家森 幸男 ○ 食塩嗜好と肉たんぱく 東北大学農学部教授 木村 修一 <p>第2回委員会(10月4日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コレステロールについて 国立健康・栄養研究所病態栄養部長 板倉 弘重 ○ 脂肪酸とコレステロール 昭和女子大学教授／お茶の水女子大学名誉教授 福場 博保 ○ 老人の栄養について 東京大学医学部教授 折茂 肇 <p>第3回委員会(11月4日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食肉の脂肪とコレステロール含量 東海大学医学部教授 五島 雄一郎 ○ 食肉の栄養について 国際学院埼玉短期大学副学長／東京大学名誉教授 細谷 憲政 ○ 寿命と動物性たんぱく質 東京都老人総合研究所疫学部長 松崎 俊久 <p>第4回委員会(12月2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本人の食の変遷 大妻女子大学教授 刈田 嘉彦 ○ 食肉の栄養について 日本ハム㈱中央研究所長 太治 司郎 ○ 調理によって変化するお肉の栄養について (財)日本食肉消費総合センター 	<p>進め方についての打合せ会議(6月20日)</p> <p>第1回委員会(7月17日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コレステロールと脂肪酸組成 国立健康・栄養研究所臨床栄養部長 板倉 弘重 ○ 食肉のビタミン、ミネラルについて 京都大学医学部教授 糸川 嘉則 ○ たんぱく質と健康増進 名古屋大学教授 佐藤 祐造 <p>第2回委員会(9月18日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 女子の食生活における食肉の役割 -特に鉄栄養との関連について 女子栄養大学副学長 香川 芳子 ○ 食肉とスポーツ 筑波大学教授 鈴木 正成 ○ B型肝炎、肝ガンの予防とたんぱく摂取 日本赤十字社中央血液センター副所長 西岡 久寿彌 <p>第3回委員会(10月20日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者における食生活の重要性 琉球大学医学部教授 松崎 俊久 ○ アメリカ人の栄養調査について 昭和女子大学大学院教授／お茶の水女子大学名誉教授 福場 博保 ○ 脳血管性障害発生機序-栄養の重要性 島根医科大学教授 家森 幸男 <p>第4回委員会(12月11日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食物と健康の関連について 国際学院埼玉短期大学副学長／東京大学名誉教授 細谷 憲政 <p>報告書等作成打合せ(11月29日)</p>	<p>進め方についての打合せ会議(7月13日)</p> <p>第1回委員会(9月13日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種脂肪酸の役割と病気との関係 国立健康・栄養研究所臨床栄養部長 板倉 弘重 ○ たんぱく質の新しい生理調節作用 東京大学農学部教授 上野川 修一 ○ 地域老人の栄養の追跡研究 東京都老人総合研究所地域保健研究部長 柴田 博 <p>第2回委員会(10月23日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本文化史における食肉 早稲田大学政治経済学部教授 筑波 常治 ○ ストレスと食事、栄養 東邦大学医学部助教授 中野 弘一 ○ 動脈硬化は高脂血症によって起こるか 東邦大学医学部助教授 長谷川 元治 <p>第3回委員会(11月19日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ビタミン・ミネラルと食肉 京都大学医学部教授 糸川 嘉則 ○ 肝臓とたんぱく質 日赤医療センター院長 織田 敏次 ○ 栄養と免疫そして運動 徳島大学医学部教授 岸野 泰雄 ○ 栄養と生体防衛-補体系を中心として- 和洋女子大学教授 坂本 元子 <p>第4回委員会(12月2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生体防衛における補体と赤血球の役割 和洋女子大学教授 坂本 元子 ○ 老年者の寿命と栄養 東京都老人総合研究所地域保健研究部長 柴田 博 ○ 過去から現在にいたる栄養摂取、特に脂肪摂取状況の推移と循環器疾患関連、都市、農村の比較 筑波大学社会医学系教授 嶋本 喬 ○ 食品の機能と機能性食品、特に食肉との結びつきについて 東京大学名誉教授／お茶の水女子大学名誉教授 藤巻 正生 <p>報告書等作成打合せ(11月30日)</p>	<p>進め方についての打合せ会議(7月2日)</p> <p>第1回委員会(8月9日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 油脂の摂取とその問題点 お茶の水女子大学教授 五十嵐 脩 ○ 飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の摂取とその役割 国立健康・栄養研究所臨床栄養部長 ○ 我が国における栄養と循環器病の疫学的研究 東京医科大学歯科大学教授 田中 平三 <p>第2回委員会(9月13日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の肉食-過去、現在、未来- 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター部長 佐原 真 ○ ステロイドホルモンとその作用 東邦大学医学部教授 宮地 幸隆 ○ たんぱく質、アミノ酸と高血圧・循環器疾患 島根医科大学教授 家森 幸男 <p>第3回委員会(10月22日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本人の食事パターンと肉 国立民族学博物館館長教授 石毛 直道 ○ 健康づくりのための運動と栄養のあり方と食肉 国立健康・栄養研究所長 小林 修平 <p>第4回委員会(12月2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生体防衛における補体と赤血球の役割 和洋女子大学教授 坂本 元子 ○ 老年者の寿命と栄養 東京都老人総合研究所地域保健研究部長 柴田 博 ○ 過去から現在にいたる栄養摂取、特に脂肪摂取状況の推移と循環器疾患関連、都市、農村の比較 筑波大学社会医学系教授 嶋本 喬 ○ 食品の機能と機能性食品、特に食肉との結びつきについて 東京大学名誉教授／お茶の水女子大学名誉教授 藤巻 正生 <p>報告書等作成打合せ(12月17日)</p>

平成 4 年 度	平成 6 年 度	平成 6 年 度	平成 7 年 度
<p>進め方に関する打合せ会議(5月21日)</p> <p>第1回委員会(7月21日)</p> <p>○ 健康と食肉 昭和女子大学大学院教授/お茶の水女子大学名誉 福場 博保</p> <p>○ わが国の学齢期の小児の栄養の実態と健康 -Goshiki Health Study- 兵庫教育大学教授 勝野 眞吾</p> <p>○ 幼児期の栄養素摂取状況 戸田市立健康管理センター 熊谷 修</p> <p>○ 5歳児の栄養調査 和洋女子大学教授 坂本 元子</p> <p>○ 小児の肥満の現状とその問題点 東京女子医科大学教授 村田 光範</p> <p>○ 思春期の栄養素摂取と血液コレステロール 東京都老人総合研究所地域保健部長 柴田 博</p> <p>第2回委員会(9月24日)</p> <p>○ ブラジル日系人の食事と健康 -移民研究による遺伝・環境相関の解析- 京都大学大学院教授 家森 幸男</p> <p>○ 疾病構造に及ぼす環境因子 -ハワイ沖縄米人の調査をめぐって- 琉球大学名誉教授 三村 悟郎</p> <p>○ ハワイ日系人についてのレビュー 国立健康・栄養研究所臨床栄養部長 板倉 弘重</p> <p>第3回委員会(10月20日)</p> <p>○ ストレス疾患の病態生理 -免疫神経内分泌学的立場からのアプローチ- 旭川医科大学第三内科 上原 聡</p> <p>○ 心臓病・高血圧のリスクファクターとしてのストレスの意義とその対策 昭和大学藤が丘病院教授 長田 洋文</p> <p>○ ストレスと心身症 東京女子医科大学附属第二病院教授 菊池 長徳</p> <p>○ ストレスは悪か“？” 桃山学院大学文学部教授 島 久洋</p> <p>○ 食事と心臓疾患 浜松医科大学教授 高田 明和</p> <p>第4回委員会(11月18日)</p> <p>○ ストレスと栄養・食生活 -実証科学的立場からの77'レポート- 国立健康・栄養研究所長 小林 修平</p> <p>○ ストレスと栄養 -脳内神経伝達物質と脳機能 静岡県立大学助教授 横越 英彦</p> <p>○ ストレス応答反応における'ノルアドレナリン'分泌の意義 名古屋大学農学部助教授 中野 紀和夫</p> <p>○ ストレスとオピオイドペプチド 名古屋大学医学部附属病院教授 鍋島 俊隆</p> <p>○ ストレスと癌 京都府立医科大学助教授 西野 輔翼</p> <p>報告書等作成打合せ(12月8日)</p>	<p>進め方に関する打合せ会議(6月24日)</p> <p>第1回委員会(8月30日)</p> <p>○ 飽和脂肪酸の役割 国立健康・栄養研究所臨床栄養部長 板倉 弘重</p> <p>○ 老化・老年症と過酸化脂質 群馬大学医学部附属病院教授 平井 俊策</p> <p>○ 過酸化脂質とビタミンE 大阪医科大学教授 美濃 眞</p> <p>第2回委員会(9月16日)</p> <p>○ 血清総コレステロール値と循環器疾患の動向 国立循環器病センター集団診断部長 小西 正光</p> <p>○ コレステロールと自覚 浜松医科大学教授 高田 明和</p> <p>○ 老化とコレステロール 東京都老人総合研究所副所長 柴田 博</p> <p>第3回委員会(10月26日)</p> <p>○ 畜産副産物の品質・規格の現状 (社)日本畜産副産物協会専務理事 橋本 美好</p> <p>○ 畜産副産物の需給状況 (社)日本畜産副産物協会理事 羽根田 実</p> <p>○ 内臓の栄養成分について (財)日本食肉消費総合センター</p> <p>○ 血液(グロビン)の食品学的利用 香川大学農学部教授 早川 茂</p> <p>○ 畜産副産物の医療品への応用 中外製薬研究所顧問 奥山 隆</p> <p>○ 家畜副産物利用の動向 九州大学名誉教授 深澤 利行</p> <p>第4回委員会(11月16日)</p> <p>○ 高齢者の健康増進 東京都老人総合研究所副所長 柴田 博</p> <p>○ 遺伝子から見た予防医学 京都大学大学院教授/島根医科大学名誉教授 家森 幸男</p> <p>○ 食品と免疫 東京大学農学部教授 上野川 修一</p> <p>報告書等作成打合せ(12月8日)</p>	<p>進め方に関する打合せ会議(7月12日)</p> <p>第1回委員会(9月16日)</p> <p>○ 日本人の血清脂質のトレンド 国立循環器センター研究所副所長 山本 章</p> <p>○ 脂質の摂取比率 国立健康・栄養研究所臨床栄養部長 板倉 弘重</p> <p>○ 脂質の摂取比率 昭和女子大学大学院教授/お茶の水女子大学名誉 教授 福場 博保</p> <p>○ 頭蓋の小進化と食生活 (財)国際高等研究所副所長/東京大学名誉教授/ 国際日本文化研究センター名誉教授 埴原 和郎</p> <p>第2回委員会(10月3日)</p> <p>○ 日本人の食生活の欧米化と健康 -日系移民の循環器疾患栄養学調査から- 京都大学大学院教授/島根医科大学名誉教授 家森 幸男</p> <p>○ 生理活性作用 特に脂質とストレス 浜松医科大学教授 高田 明和</p> <p>○ 免疫と栄養 東京大学大学院教授 上野川 修一</p> <p>○ ミネラルの生体利用率 京都大学食糧科学研究所教授 安本 教博</p> <p>○ コレステロール・畜産物と生体機能 東京都老人総合研究所副所長 柴田 博</p> <p>第3回委員会(11月7日)</p> <p>○ 牛肉のおいしさについて 東京食肉市場株式会社代表取締役専務 海老澤 清</p> <p>○ 牛肉のうまさについて 農林水産省畜産試験場畜産物規格鑑定研究室長 小堤 恭平</p> <p>○ 和牛肉はなぜおいしいのか 日本獣医畜産大学畜産食品工学科教授 沖田 明敏</p> <p>○ 食肉のおいしさ 東京大学名誉教授/お茶の水女子大学名誉教授 藤巻 正生</p> <p>○ 食肉のおいしさと筋肉組織の fiber type、糖・ リン酸結合物の関係 九州大学名誉教授 深澤 利行</p> <p>報告書等作成打合せ(12月1日)</p>	<p>進め方に関する打合せ会議(6月23日)</p> <p>第1回委員会(8月31日)</p> <p>○ 血中コレステロールと死亡との関係 筑波大学社会医学系助教授 磯 博康</p> <p>○ トランス酸、脂質栄養に関する最近の話題 国立健康・栄養研究所臨床栄養部長 板倉 弘重</p> <p>○ コラーゲンについて 東邦大学医学部教授 大山 俊郎</p> <p>○ 低コレステロール血症と生体機能・うつの 関連 東京都老人総合研究所副所長 柴田 博</p> <p>第2回委員会(9月29日)</p> <p>○ 食塩・アルコール嗜好とたんぱく質 昭和女子大学大学院教授/東北大学名誉教授 木村 修一</p> <p>○ タウリンと胎児発育 奈良県立医科大学医学部教授 島本 郁子</p> <p>○ 食肉とアナンダマイド 浜松医科大学教授 高田 明和</p> <p>○ 食肉とビタミン お茶の水女子大学生活環境研究センター長・教授 五十嵐 脩</p> <p>○ 食肉とミネラル 京都大学医学部教授 糸川 嘉則</p> <p>第3回委員会(10月26日)</p> <p>○ 世界調査からみた食環境の変化と人類の健康 京都大学大学院教授/島根医科大学名誉教授 家森 幸男</p> <p>○ 日本人の食生活と牛肉 京都大学総合人間学部教授 吉田 忠</p> <p>○ 豚肉のおいしさについて 鹿児島県農業大学校 川井田 博</p> <p>○ 副産物の利用について 岐阜大学農学部教授 杉山 道雄</p> <p>報告書等作成打合せ(11月10日)</p>

平成 8 年 度	平成 9 年 度	平成 1 0 年 度	平成 1 1 年 度
<p>進め方に関する打合せ会議(6月25日)</p> <p>第1回委員会(8月26日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体質要因と成人病 -脂質摂取の縛から- 国立健康・栄養研究所特別客員研究員 板倉 弘重 ○ 高齢者と食肉摂取 -高齢者の食肉摂取を規定する要因- 東京都老人総合研究所副所長 柴田 博 ○ 骨の健康と栄養 東京都老人総合研究所社会学・社会医学研究系疫学部門研究部長 鈴木 隆雄 ○ プリオン病 -特に牛海綿状脳症について- 農林水産省家畜衛生試験場総合診断研究部病理診断研究室長 久保 正法 <p>第2回委員会(9月25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ハワイ日系人の長寿と食事 京都大学大学院教授/島根医科大学名誉教授 家森 幸男 ○ コラーゲン -特に摂取と栄養について- 東京農工大学教授 藤本 大三郎 ○ 遺伝子改変動物における食餌の影響 国立健康・栄養研究所特別客員研究員 板倉 弘重 ○ セロトニンの行動と食飲に及ぼす影響 浜松医科大学教授 高田 明和 <p>第3回委員会(10月8日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 我国における食中毒 元国立予防衛生研究所細菌部第一室長 坂崎 利一 ○ タウリンについて -栄養学的考察- 京都府立医科大学学長 栗山 欣弥 ○ カルシウムの摂取と吸収 静岡国立大学学長 星 猛 <p>報告書等作成打合せ(12月2日)</p>	<p>進め方に関する打合せ会議(6月23日)</p> <p>第1回委員会(8月29日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝鮮半島における食肉文化 滋賀県立大学人間化学部教授 鄭 大聲 ○ 形態からみた食肉の性状 九州大学名誉教授 深澤 利行 ○ 小児の中枢神経の発達と脂質 帝京大学医学部小児科主任教授 阿部 敏明 ○ 小児期からの成人病対策 京都府立医科大学助教授 衣笠 昭彦 <p>第2回委員会(9月29日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 動脈硬化、高脂血症と栄養 国立健康・栄養研究所特別客員研究員 板倉 弘重 ○ 糖尿病と栄養 広島原爆障害対策協議会健康管理センター所長 伊藤 千賀子 ○ 肥満およびやせと栄養 浜松医科大学講師 田港 朝彦 ○ リウマチ性疾患と栄養 聖マリアンナ医科大学教授 西岡 久寿樹 <p>第3回委員会(10月22日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活機能・QOLと食肉 東京都老人総合研究所副所長 柴田 博 ○ 脳の老化と栄養 浜松医科大学教授 高田 明和 ○ 歯果と栄養 高知愛和病院院長 村井 淳志 ○ 寝たきり老人を予防する栄養 -遺伝栄養学と国際栄養疫学からの展望- 京都大学大学院教授/島根医科大学名誉教授 家森 幸男 <p>報告書等作成打合せ(12月3日)</p>	<p>進め方に関する打合せ会議(6月25日)</p> <p>第1回委員会(8月25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食肉研究の最近の動向 -食肉の軟化・熟成機構及びその促進法について- 新潟大学農学部教授 鈴木 敦士 ○ 食肉衛生問題の最近の動向 (財)日本食品分析センター学術顧問/東京農工大学名誉教授 小川 益男 ○ 肉食の文化と調理科学 大妻女子大学家政学部教授 下村 道子 <p>第2回委員会(9月25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食肉に含まれる生理活性物質の研究の動向 東京大学名誉教授/お茶の水女子大学名誉教授 藤巻 正生 ○ 食肉及び副産物由来の生理活性物質とその高度利用 伊藤ハム(株)中央研究所所長 中村 豊郎 ○ 食肉成分の血中コレステロール低下作用 日本ハム(株)中央研究所主任研究員 森松 文毅 ○ カルノシンの生体内での働き 昭和女子大学大学院教授/東北大学名誉教授 木村 修一 ○ 食肉の抗ストレス効果 浜松医科大学教授 高田 明和 <p>第3回委員会(11月18日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食生活とがん 国立がんセンター研究所臨床疫学研究部長 津金 昌一郎 ○ 血中コレステロールとがん 東京都老人総合研究所副所長 柴田 博 ○ 食生活の欧米化とがん 京都大学大学院教授/島根医科大学名誉教授 家森 幸男 <p>報告書等作成打合せ(12月7日)</p>	<p>進め方に関する打合せ会議(7月2日)</p> <p>第1回委員会(8月27日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脂肪酸の免疫能に及ぼす影響 国立健康・栄養研究所名誉所員/東京大学先端科学技術センター客員研究員 板倉 弘重 ○ 食事と血清アルブミン 東京都老人総合研究所副所長 柴田 博 ○ カルニチンの脂肪代謝への寄与 金沢大学医学部附属病院薬剤部長・教授 宮本 謙一 <p>第2回委員会(9月27日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域高齢者の血色素の関連要因 -地域高齢者に対する介入研究の成果より- 東京都老人総合研究所地域保健部門研究員 熊谷 修 ○ L-カルニチンの機能性について 伊藤ハム(株)中央研究所研究員 若松 純一 ○ 食肉加工品の栄養特性と多様化 日本ハム(株)中央研究所主任研究員 森松 文毅 ○ 東南アジアにおける伝統的発酵肉について 大妻女子大学教授 大森 正司 <p>第3回委員会(10月27日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 米国における食肉の安全性確保のとりくみ U.S.-Japan Science Consulting Service Inc. 社長 田中 信正 ○ 我国における食肉の安全性確保のとりくみ 厚生省生活衛生局乳肉衛生課長 森田 邦雄 ○ 食肉の安全性に関するトピック (財)日本食品分析センター学術顧問/東京農工大学名誉教授 小川 益男 <p>報告書等作成打合せ(11月29日)</p>

平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
<p>進め方に関する打合せ会議(6月19日)</p> <p>第1回委員会(9月7日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 口蹄疫について ー世界の現状と我が国の実状ー 農林水産省畜産局衛生課長 松原 謙一 ○ 若年層の食生活現状並びに食生活指針のとりえ方 桜美林大学教授/日本ウエルエージング協会会長 柴田 博 ○ 食肉消費の地域性と世代間相違 麻布大学獣医学部助教授 四方 康行 <p>第2回委員会(10月30日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 牛肉の抗ストレス効果 浜松医科大学教授 高田 明和 ○ 食事たんぱく質の栄養と運動・免疫・腎機能 東京農工大学教授 矢ヶ崎 一三 ○ 食肉摂取と健康・長寿 京都大学大学院教授/島根医科大学名誉教授 家森 幸男 <p>第3回委員会(11月27日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カルノシンの生理作用 昭和女子大学大学院教授/東北大学名誉教授 木村 修一 ○ 骨の代謝について ーBone Marrowを中心にー 東京都老人総合研究所栄養学部門研究室長 藤原 康子 ○ Bone Marrowの風味成分について 東京学芸大学教育学部教授 福家 真也 ○ 肉の食文化 ー日本人の食味嗜好の成立ー 聖徳大学教授/聖徳大学短期学部教授/岐阜女子大学名誉教授 田名部 尚子 <p>報告書等作成打合せ(12月11日)</p>	<p>進め方に関する打合せ会議(7月12日)</p> <p>第1回委員会(9月3日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コレステロールと健康に関する最近の研究 茨城キリスト教大学教授/東京先端技術センター客員研究員/国立栄養・健康研究所名誉所員 板倉 弘重 ○ 米圈におけるコレステロール論争 浜松医科大学名誉教授 高田 明和 ○ 食と栄養の加齢変化 地域高齢者の権断研究ー 桜美林大学教授/生涯発達研究所所長/東京都老人総合研究所名誉所員 柴田 博 ○ 肉を原料とする機能性食品の開発動向 北里大学助教授 有原 圭三 <p>第2回委員会(10月30日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Beyond Antioxidant ービ・タキシエの代謝産物の機能を中心にー 茨城キリスト教大学教授/お茶の水女子大学名誉教授 五十嵐 脩 ○ コラーゲンの機能 コッピバ イマトリックス研究所/ロジック・マトリゲル 服部 俊治 ○ トリプトファン代謝産物による脳の保護効果 浜松医科大学名誉教授 高田 明和 ○ アレルギーと食肉 新潟大学教授 鈴木 教士 <p>第3回委員会(10月29日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今回のBSE感染牛の発生に係る対応の経緯について 農林水産省生産局畜産部衛生課 小野寺 聖 ○ アレルギーと食品 東京大学大学院教授 上野川 修一 ○ 食肉の高血圧に与える影響に関する基礎的研究 WHO循環器疾患予防国際共同研究センター長/ (財)兵庫県健康財団会長/京都大学名誉教授/島根医科大学名誉教授 家森 幸男 <p>報告書等作成打合せ(12月6日)</p>	<p>進め方に関する打合せ会議(6月20日)</p> <p>第1回委員会(8月5日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本人の食文化と牛肉 京都橋女子大学教授 吉田 忠 ○ 食肉エキスのコク味 味の素食品研究所食品事業モデル開発室 島 圭吾 ○ 牛肉の脂肪交雑量と食味 東京農業大学農学部教授 山口 静子 <p>第2回委員会(9月5日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 牛肉のカルニチンについて 伊藤ハム㈱ヘルスサイエンス事業部HBCグループ HBC開発チーム 関口 健 ○ 牛肉中のビ・タキシエとその機能 茨城キリスト教大学教授/お茶の水女子大学名誉教授 五十嵐 脩 ○ 牛肉の抗酸化作用 東京大学先端科学技術センター客員研究員/国立健康・栄養研究所名誉所員 板倉 弘重 ○ 高齢者の栄養改善のための介入研究について 桜美林大学教授/東京都老人総合研究所名誉所員 柴田 博 <p>第3回委員会(10月18日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食肉の衛生検査と安全性 (財)日本商品分析センター学術顧問/東京農工大学名誉教授 小川 益男 ○ リスク論を踏まえた食品の安全・安心・品質の確保 食品保健科学情報交流協議会専務理事 伊藤 運太郎 ○ 牛肉のトレーサビリティ導入について 京都大学大学院農学研究科教授 新山 陽子 <p>報告書等作成打合せ(11月21日)</p>	<p>進め方に関する打合せ会議(4月 8日)</p> <p>第1回委員会(7月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 加齢に伴う筋力障害に対する防護作用 昭和女子大学大学院教授 木村 修一 ○ 薬膳の働きと機能 茨城キリスト教大学教授/お茶の水女子大学名誉教授 五十嵐 脩 ○ コラーゲンペプチドの吸収と機能 京都府立大学人間環境学部助教授 佐藤 健司 ○ タンパク質・ペプチドの腸管吸収 東京大学大学院教授 清水 誠 <p>第2回委員会(8月19日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小児中枢神経の発達とコレステロール 茨城キリスト教大学教授/東京先端技術センター客員研究員/国立栄養・健康研究所名誉所員 板倉 弘重 ○ 小児の成長と抗酸化ビタミン 大阪医科大学小児科教授 玉井 浩 ○ 小児期の栄養と生活習慣病リスクファクター 愛媛大学医学部小児科教授 貴田 嘉一 ○ 今の子供の健康問題ー肥満・やせ・そして貧血 東京女子医科大学名誉教授/和洋女子大学教授 村田 光範 <p>第3回委員会(9月25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 牛肉における肉質の遺伝性とその改良 岡山大学総合農業学科教授 及川 卓郎 ○ 豚肉質を選抜形質とした改良と高品質豚肉買の品種間格差 東北大学大学院農学研究科助教授 鈴木 啓一 ○ アラキドン酸とアナンダマイド 浜松医科大学名誉教授 高田 明和 ○ 老人の健康と栄養 桜美林大学教授/東京都老人総合研究所名誉所員 柴田 博 <p>報告書等作成打合せ(10月23日、1月23日)</p>

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
<p>進め方に関する打合せ会議(4月8日)</p> <p>第1回委員会(7月26日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ BSE感染牛(今後の発生)リスク 国際「サカド」と日本の検査態勢 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 吉川 泰弘 ○ 食肉の味 京都大学食品生物科学教授 伏木 亨 ○ 食肉の調理と化学 お茶の水女子大学教授 畑江 敬子 <p>第2回委員会(8月23日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脂質と血管障害関連 帝京大学第二内科教授 寺本 民生 ○ 生活習慣病に関わる新たな内分泌 因子の同定と医学応用 大阪大学分子病体医学教授 下村伊一郎 ○ 総死亡率から見た血清コレステロール値 富山医科薬科大学教授 浜崎 智仁 ○ 動脈硬化危険因子における血清脂質の評価 茨城キリスト教大学教授教授 板倉 弘重 <p>第3回委員会(9月3日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動と栄養 筑波大学体育科学系運動栄養学講師 麻美(オミ)直美 ○ 疲労の評価 大阪外国語大学 保健管理センター助教授 梶本 修身 ○ ストレスと腸 浜松医科大学名誉教授 高田 明和 	<p>進め方に関する打合せ会議(4月8日)</p> <p>第1回委員会(6月24日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食の世界 聖路加国際病院精神科部長 大平 健 ○ 脳と健康 浜松医科大学名誉教授 高田 明和 ○ 高齢者における肝臓の役割 茨城キリスト教大学教授 板倉 弘重 <p>第2回委員会(7月21日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近年注目されている食品媒介感 染症(食中毒を含む)とその対応 岩手大学教授 品川 邦汎 ○ 食のプロバイダー(給食産業の 現場から) アイビス(株)モバイル給食事業部長 須田 康仁 ○ 生活環境の変化と糖尿病の要因 順天堂大学医学部教授 河盛 隆造 <p>第3回委員会(8月19日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の食生活と栄養—その要因と 健康への影響— 桜美林大学大学院教授 柴田 博 ○ 高齢者の栄養改善のための指針 と介入経験 人間総合科学大学健康栄養学教授 熊谷 修 ○ 食育に関わっていること—高齢 者をめぐる課題— 女子栄養大学大学院教授 足立 己幸 	<p>進め方に関する打合せ会議(4月7日)</p> <p>第1回委員会(6月9日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小説からみた摂食障害 東邦大学医学部 卒後臨床研修/生涯教育センター長 中野 弘一 ○ 高齢期のストレスと長寿 東京都老人総合研究所主任研究員 権藤 恭之 ○ 就業と退職に関わるストレス 桜美林大学大学院教授 柴田 博 <p>第2回委員会(8月19日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳機能に及ぼすストレス・栄養 の影響 静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科教授 横越 英彦 ○ 食品の抗ストレス及びアンチ エイジング効果 —脳機能測定による検討— 杏林大学医学部精神神経科学教室教授 古賀 良彦 ○ ストレスと脳機能 —コレステロールをめぐる— 浜松医科大学名誉教授 高田 明和 <p>第3回委員会(9月11日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ストレスと糖尿病 香川大学医学部臨床検査医学教授 田港 朝彦 ○ ストレスと生活習慣病 茨城キリスト教大学教授教授 板倉 弘重 ○ ストレスと免疫 日本大学生物資源科学部教授 上野川 修一 	<p>進め方に関する打合せ会議(4月8日)</p> <p>第1回委員会(7月23日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食肉摂取と脳の健康 75+10歳は脳を育みそして守る ウチリ-樹健康科学研究所長 木曾 良信 ○ 食肉摂取と肥満 浜松医科大学名誉教授 高田 明和 ○ 肥満と脂肪細胞 茨城キリスト教大学教授教授 板倉 弘重 <p>第2回委員会(8月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ たんぱく質栄養と運動 大阪体育大学教授 岡村 浩嗣 ○ 肥満対策の効果 女子栄養大学副学長 香川 靖雄 ○ 血清アルブミンの意義 桜美林大学大学院教授 柴田 博 <p>第3回委員会(9月12日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ メタボリックシンドロームの真相 東海大学医学部・基礎医学系教授 大楠 陽一 ○ 食欲増加ホルモングレリンの動態 と胃の生理機能への影響 埼玉医科大学総合医療センター 第一内科教授 屋嘉比 康治 ○ 抗肥満薬 サノフィ・アベンティス㈱ 原島 伸一

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<p><u>進め方に関する打合せ会議(4月11日)</u></p> <p><u>第1回委員会(7月22日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鳥インフルエンザと新型ウイルス 北海道大学大学院獣医学研究科教授 喜田 宏 ○ 活性酸素と生命のメカニズム 大阪市立大分子病理学教授 井上 正康 ○ カロリー制限と寿命 浜松医科大学名誉教授 高田 明和 <p><u>第2回委員会(8月8日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ メタボ検診及び問題点及び健康寿命の評価について 茨城キリスト教大学教授 板倉 弘重 ○ 胎内で生活習慣病の素因が形成される 早稲田大学胎生期エビジェネティクス制御研究所教授 福岡 秀典 ○ 糖尿病の食事療法の変遷 順天堂大学医学部教授 河盛 隆造 <p><u>第3回委員会(8月26日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳におけるドーパミンの役割 浜松医科大学心理学教授 中原 大一郎 ○ 機能性から見た食肉の機能 日本生命科学大学教授 西村 敏英 ○ 日本人の栄養と長寿 桜美林大学大学院教授 柴田 博 	<p><u>進め方に関する打合せ会議(4月8日)</u></p> <p><u>第1回委員会(7月27日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飼料種を与えた場合の牛肉質について 山形大学 やまがたフィールド科学センター教授 吉田 宣夫 ○ 我が国における肉牛生産の問題 畜産技術協会参与/元畜産試験場長 松川 正 ○ BSE(今後の発生)リスク 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 吉川 泰弘 <p><u>第2回委員会(9月7日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 牛肉利用の歴史-食文化との関連で- 二本松学院学院長/京大名誉教授 宮崎 昭 ○ 牛肉の魅力(レビュー) 日本獣医生命科学大学教授 西村 敏英 ○ 牛肉のおいしさについて 日本獣医生命科学大学名誉教授 沖谷 明敏 <p><u>第3回委員会(9月24日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツと食肉-スポーツ栄養とスポーツ食育の視点から- 早稲田大学教授 樋口 満 ○ 食肉の新たな機能性としての“Thermic effect” 北海道大学農学部助教 若松 純一 ○ 筋肉:生体における役割と食品としての役割 東京農工大学教授 矢ヶ崎一三 	<p><u>進め方に関する打合せ会議(4月8日)</u></p> <p><u>第1回委員会(7月27日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ わが国の養豚の現状と課題 農林水産先端技術産業振興センター 三上 仁志 ○ 豚におけるエコフィード利用の状況 畜産草地研究所 機能性飼料研究チーム長 川島 知之 ○ エコフィードを与えた豚肉質について 日本獣医生命科学大学教授 西村 敏英 ○ 豚肉の加工(ハム・ソーセージ) 北海道大学教授 西邑 隆徳 <p><u>第2回委員会(8月30日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 豚肉とコレステロール 茨城キリスト教大学教授 板倉 弘重 ○ 豚肉の栄養・機能成分 日本大学教授 上野川 修一 ○ 栄養と健康(脂肪摂取と健康に及ぼす影響) 東京医科歯科大学教授 小川 佳宏 <p><u>第3回委員会(9月24日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 豚肉生産の歴史と日本人の食文化 京都伝統工芸館学院長/京大名誉教授 宮崎 昭 ○ 豚肉の安全安心 岩手大学教授 品川 邦汎 ○ 新型インフルエンザ(インフルエンザに豚がどう関わっているか) 北海道大学教授 喜田 宏 	<p><u>第1回食肉学術情報収集会議(7月28日)</u> 食肉学術フォーラムの進め方、広報誌取りまとめ案等の検討</p> <p><u>第1回食肉学術フォーラム委員会(7月28日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鶏インフルエンザ(インフルエンザの新たなシナリオ) 北海道大学大学院人獣共通感染症リサーチセンター長 喜田 宏 ○ 鶏肉を介した食品由来人獣共通感染症 北里大学獣医学部獣医学科教授 吉川 泰弘 ○ 鶏肉の安全安心(Farm to Table) 岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育センター特任教授 品川 邦汎 <p><u>第2回食肉学術情報収集会議(8月25日)</u> 第1回食肉学術フォーラム、広報誌取りまとめ案等の検討</p> <p><u>第2回食肉学術フォーラム委員会(8月25日)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鶏肉の栄養・機能成分及び肉質とおいしさについて 日本獣医生命科学大学教授 西村 敏英 ○ 鶏肉生産の歴史と日本人の食文化 二本松学院学院長/京大名誉教授 宮崎 昭 ○ 国内及び海外(世界)の鶏肉事情 京都産業大学名誉教授 駒井 亨 <p><u>第3回食肉学術情報収集会議(9月17日)</u> 広報誌の取りまとめ、分割り、表題案等の検討</p> <p><u>第3回食肉学術フォーラム委員会(9月17日) 一般公開</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ トランス脂肪酸とは-どこまで理解されているか- 九州大学理事・副学長 今泉 勝己 ○ トランス脂肪酸の人体への影響 茨城キリスト教大学名誉教授/認定臨床栄養指導医 板倉 弘重 ○ 食肉の生食による腸管出血性大腸菌食中毒の発生とその予防 岩手大学 特任教授・名誉教授/日本食品衛生学会会長 品川 邦汎 <p><u>第4回食肉学術情報収集会議(12月26日)</u> 広報誌校正案、A5シバ-トナ-No20表紙案等の検討</p> <p><u>第5回食肉学術情報収集会議(24年3月22日)</u> 広報誌及びA5シバ-トナ-No.20の評価及び次年度に向けた課題検討</p>

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
<p>第1回食肉学術情報収集会議(6月22日) 今年度事業の進め方、食肉学術フォーラムの演題等の検討</p> <p>第1回食肉学術フォーラム委員会(6月22日)</p> <p>○ 放射性物質による被ばくと農畜産物への影響を正しく伝えるために 日本動物高度医療センター院長 夏堀 雅宏</p> <p>○ 低線量放射線の生物影響と健康影響 (公財)環境科学技術研究所生物影響研究部長 田中 公夫</p> <p>○ ヨーロッパにおけるBSEリスク管理の変遷 東京大学大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻国際動物資源科学研究室教授 杉浦 勝明</p> <p>第2回食肉学術情報収集会議(9月3日) 第1回食肉学術フォーラム、広報誌取りまとめ案等の検討</p> <p>第2回食肉学術フォーラム委員会(9月3日)</p> <p>○ 福島原発事故の影響 北里大学教授 伊藤 伸彦</p> <p>○ BSEと非定型BSE 動物衛生研究所ブリーオン病研究センター領域補佐 横山 隆</p> <p>○ ヒトのプリオン病-CJDとvCJDの関係ー 東京医科歯科大学 水澤 英洋</p> <p>第3回食肉学術情報収集会議(9月24日) 広報誌の取りまとめ、台割り、セクション表題案等の検討</p> <p>第3回食肉学術フォーラム委員会(9月24日)</p> <p>○ 食肉と長寿 人間総合科学大学保健医療学部長 柴田 博</p> <p>○ 高齢者の栄養状態と余命及び死因別死亡 (地独)東京都健康長寿医療センター 新開 省二</p> <p>○ 食品と癌に関する疫学データ解析 大橋医学情報研究所所長 大橋 陽一</p> <p>第4回食肉学術情報収集会議(12月11日) 広報誌表紙、セッションタイトル決定、ヘルシー・トナ-No21編集案等の検討</p> <p>第5回食肉学術情報収集会議(3月22日) 広報誌及びヘルシー・トナ-No.20の評価及び次年度に向けた課題検討</p>	<p>第1回食肉学術情報収集会議(6月17日) 今年度事業の進め方、食肉学術フォーラムの演題等の検討</p> <p>第1回食肉学術フォーラム委員会(6月17日)</p> <p>○ 食品から受ける放射能の影響 国際医療福祉大学大学院教授 鈴木 元</p> <p>○ 食品における放射能低減法 北里大学副学長 伊藤 伸彦</p> <p>○ 福島県の牛肉の放射性物質検査体制と安全性確保 福島県農林水産部畜産課主幹 小林 雄治</p> <p>第2回食肉学術情報収集会議(8月8日) 第1回食肉学術フォーラム、広報誌取りまとめ案等の検討</p> <p>第2回食肉学術フォーラム委員会(8月8日)</p> <p>○ 高齢者への肉食の勧め 日本獣医生命科学大学教授 西村 敏英</p> <p>○ BSE検査体制の変更について 千葉科学大学副学長 吉川 泰弘</p> <p>○ 鳥インフルエンザとパンデミックインフルエンザウィルスの正体 北海道大学大学院獣医学研究科特任教授 喜田 宏</p> <p>第3回食肉学術情報収集会議(9月6日) 広報誌の取りまとめ、台割り、セクション表題案等の検討</p> <p>第3回食肉学術フォーラム委員会(9月6日)</p> <p>○ 糖質低減食の効果的活用法 大橋医学情報研究所所長 大橋 陽一</p> <p>○ 粗食長寿説の承継 人間総合科学大学保健医療学部長 柴田 博</p> <p>○ 免疫からみた低栄養の問題点—文献から— 茨城キリスト教大学名誉教授 板倉 弘重</p> <p>第4回食肉学術情報収集会議(12月9日) 広報誌表紙、セッションタイトル決定、編集案等の検討</p> <p>第5回食肉学術情報収集会議(3月1日) 広報誌等作成冊子の評価及び次年度に向けた課題検討</p>	<p>第1回食肉学術情報収集会議(7月8日)</p> <p>第1回(第1回食肉学術フォーラム委員会)(7月8日)</p> <p>○ 放射性物質による被ばくと食の安全 北里大学教授 夏堀 雅宏</p> <p>○ どうする？鳥インフルエンザとパンデミックインフルエンザ 日本学士院会員 北海道大学特別教授 喜田 宏</p> <p>○ 動物感染症のリスクコントロール 千葉科学大学副学長 吉川 泰弘</p> <p>第2回(第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(8月4日)</p> <p>○ オレイン酸と牛肉の美味しさ 日本獣医生命科学大学教授 西村 敏英</p> <p>○ 和食の美味しさについて 京都大学大学院教授 伏木 亨</p> <p>○ 風評被害の対策(第2回食肉学術フォーラム委員会) 帯広畜産大学教授 澤田 学</p> <p>第3回(第3回食肉学術フォーラム委員会)(9月8日)</p> <p>○ ノロウイルス対策としての食肉の保存と管理 盛岡大学栄養科学部客員教授 岩手大学名誉教授 品川 邦汎</p> <p>○ アレルギーと免疫 東京大学名誉教授 上野川 修一</p> <p>○ 和牛改良の歴史(第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会) 元 畜産試験場長 松川 正</p> <p>○ 熊本県における鳥インフルエンザの発生 熊本県農林水産部畜産課審議員 平野 孝昭</p> <p>第4回(第3回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(9月9日)</p> <p>○ 和食の中の食肉 京都大学名誉教授 宮崎 昭</p> <p>○ 生活習慣病 茨城キリスト教大学名誉教授 板倉 弘重</p> <p>○ 肉食による日本人の長寿化 人間総合科学大学保健医療学部長・大学院教授 柴田 博</p>	<p>第1回食肉学術情報収集会議(6月17日)</p> <p>第1回食肉学術フォーラム委員会(7月4日)</p> <p>○ ジビエの安全確保に関する国のガイドライン 岩手大学名誉教授 品川 邦汎</p> <p>○ 日本の養畜産業について 京都大学名誉教授 宮崎 昭</p> <p>○ 肉用家畜の品種改良 元畜産試験場長 松川 正</p> <p>第2回食肉学術フォーラム委員会(7月28日)</p> <p>○ 人獣共通感染症の克服戦略【インフルエンザを例に】 日本学士院会員 北海道大学特別教授 喜田 宏</p> <p>○ マンハッタン原則【家畜と野生動物と人の健康をどう維持していくか】 千葉科学大学副学長 吉川 泰弘</p> <p>○ 福島県の畜産物生産における放射性物質に関する研究 福島県農業総合センター畜産研究所 所長 志賀 茂</p> <p>第3回食肉フォーラム(第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(8月20日)</p> <p>○ タンパク質のアンチエイジング機能【食肉ペプチドの血管強化作用】 東京農業大学教授 清水 誠</p> <p>○ 老化とエビジェネティクス 早稲田大学総合研究機構研究院教授 福岡 秀興</p> <p>○ 糖質低減食について 茨城キリスト教大学名誉教授 板倉 弘重</p> <p>第4回食肉フォーラム(第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(9月28日)</p> <p>○ 食肉の美味しさの決定要因 日本獣医生命科学大学名誉教授 沖谷 明雄</p> <p>○ 加齢による免疫低下について 東京大学名誉教授 上野川 修一</p> <p>○ 年齢別健康基準とコレステロール 東海大学名誉教授 大橋 陽一</p>

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<p>第1回(第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(7月22日)</p> <p>○ 和牛肉のおいささとコク 広島大学名誉教授/日本獣医生命科学大学教授 西村 敏英</p> <p>○ 日本人の食肉消費の歴史<食肉を食材に育て上げた162年の歩み> 京都大学名誉教授 宮崎 昭</p> <p>○ 「インターバル速歩+牛乳」で暑さに強い体をつくる 信州大学教授 能勢 博</p> <p>第1回食肉学術情報収集会議(8月22日)</p> <p>第2回(第1回食肉学術フォーラム委員会)(8月22日)</p> <p>○ 国産食肉の優位性分析 亜細亜大学教授 茂木 信太郎</p> <p>○ 赤肉・加工肉に関するIARCの発表 東京大学名誉教授/千葉科学大学危機管理理学部教授 吉川 泰弘</p> <p>○ 赤肉と食肉加工品の発がん性 国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長 畠山 智香子</p> <p>第3回(第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(9月16日)</p> <p>○ 国産牛肉、とくに乳用種牛肉と輸入牛肉のちがいについて 農研機構畜産産研究部門 食肉品質ユニット長 佐々木 啓介</p> <p>○ 高齢者の栄養と活動 徳島大学名誉教授 武田 英二</p> <p>○ 食肉の放射線による風評被害 帯広畜産大学教授 澤田 学</p> <p>第2回食肉学術情報収集会議(9月26日)</p> <p>第4回(第2回食肉学術フォーラム委員会)(9月26日)</p> <p>○ 食肉の摂取不足にもなる問題点 茨城キリスト教大学名誉教授 板倉 弘重</p> <p>○ 食肉と免疫 東京大学名誉教授 上野川 修一</p> <p>○ 日本人の肉食摂取の推移と長寿化の関係 桜美林大学名誉教授/特任教授 柴田 博</p>	<p>第1回(第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(7月18日)</p> <p>○ ビタミンB1による生体防御メカニズムとコホートデータを活用した健康科学への展開 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 プロジェクトリーダー 國澤 純</p> <p>○ 霜降り豚肉の実用化について 家畜改良センター 理事長 入江 正和</p> <p>○ 日本人の世界トップレベルの長寿は陰について 桜美林大学名誉教授・招聘教授 日本往年老年学会理事長 柴田 博</p> <p>第2回(第1回食肉学術フォーラム委員会)(8月23日)</p> <p>○ 食品衛生の技術的課題(平成28年度食中毒発生状況から考える) 一般社団法人食肉科学技術研究所理事長 森田 邦雄</p> <p>○ 食肉の危害分析重要管理点(HACCP)方式 岩手大学名誉教授 品川 邦弘</p> <p>○ 鳥インフルエンザの診断と世界動向 北海道大学大学院獣医学研究院教授 迫田 義博</p> <p>第3回(第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(9月1日)</p> <p>○ 食肉加工品(加工肉) <食肉製品・成型肉(牛脂注入肉)> 元日本食肉研究会会長/北海道大学名誉教授 服部 昭仁</p> <p>○ イミダゾールペプチドの認知機能低下回避作用について 東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授 久恒 展博</p> <p>○ BMIと余命・健康余命 東北大学大学院医学研究科教授 辻 一郎</p> <p>第4回(第2回食肉学術フォーラム委員会)(9月28日)</p> <p>○ 食品の放射性物質汚染に係る消費者の意識調査 東京大学大学院農学生命科学研究科教授/食の安全研究センター長 関崎 勉</p> <p>○ 食品中発がん物質のリスクについて 国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長 畠山 智香子</p> <p>○ JGAP(農業生産工程管理)について 日本GAP協会技術委員会畜産部会委員/エフ・エム・アイ審査員 西貝 正彦</p>	<p>第1回(第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(7月20日)</p> <p>○ 時間栄養学 国立研究開発法人産業技術総合研究所 客員教授 大石 勝隆</p> <p>○ 栄養成分、特に食肉成分と精神疾患について 国立精神神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部長 気分障害先端治療センター長 功刀 浩</p> <p>○ 長寿の鍵 桜美林大学名誉教授/招聘教授 柴田 博</p> <p>第2回(第1回食肉学術フォーラム委員会)(8月3日)</p> <p>○ 人獣共通感染症としてのインフルエンザ対策の要 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター招聘教授 喜田 宏</p> <p>○ 食用動物由来薬剤耐性菌の現状と課題 酪農学園大学動物薬教育研究センター教授 田村 豊</p> <p>○ 心配の優先度を考える <有害物質の摂取量推定を題材に> 国立医薬品食品衛生研究所安全情報部第一室長 渡邊 敬浩</p> <p>第3回(第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(8月31日)</p> <p>○ 食事パターンと死亡リスクの関係 福岡女子大学国際文理学部 食・健康学科准教授 南里 明子</p> <p>○ 食肉に含まれるコラーゲンペプチドの抗加齢効果 京都大学大学院農学研究科教授 佐藤 健司</p> <p>○ 食肉の抗加齢効果 茨城キリスト教大学名誉教授 板倉 弘重</p> <p>第4回(第2回食肉学術フォーラム委員会)(9月7日)</p> <p>○ 牛白血病(BLV)に関する衛生対策 農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門 ウイルス・疫学研究領域 疫学ユニット長 山本 健久</p> <p>○ 栄養疫学研究論文の読み方<メタアナリシスの功と罪> 東京大学大学院医学系研究科教授 佐々木 敏</p> <p>○ 放射性物質に係る風評被害対策<福島県産食肉のGAP認証取得の取組> 福島県農林水産部畜産課長 白石 芳雄</p>	<p>第1回(第1回食肉学術フォーラム委員会)(7月18日)</p> <p>○ 鳥インフルエンザ、パンデミックインフルエンザ 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 特別招聘教授・統括 喜田 博</p> <p>○ 豚コレラ、アフリカ豚コレラへの対応 北海道大学大学院獣医学研究院微生物学教室 教授 迫田 義博</p> <p>○ 食品の安全性について考える(食品添加物はなぜ誤解されるのか) 元相模女子大学教授 三輪 操</p> <p>第2回(第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(8月2日)</p> <p>○ サルコペニア、脳卒中と食肉摂取 茨城キリスト教大学名誉教授 板倉 弘重</p> <p>○ 牛肉の生産・消費における日米比較 京都大学名誉教授 宮崎 昭</p> <p>○ 食肉の栄養的価値 日本獣医生命科学大学応用生命科学部 講師 江草 愛</p> <p>第3回(第2回食肉学術フォーラム委員会)(8月26日)</p> <p>○ 安全な食肉生産のためのと畜場におけるHACCP 岩手大学名誉教授 品川 邦弘</p> <p>○ 農場HACCP、J・GAP、グローバルGAPの考え方と現場の対応 東京大学国際動物資源科学研究室 教授 杉浦 勝明</p> <p>○ 食に関するリスク情報のとらえかた 国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長 畠山 智香子</p> <p>第4回(第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会)(9月2日)</p> <p>○ 健康寿命と栄養 ～やせ、低栄養、脂質異常症～ 東京都健康長寿医療センター研究所副所長 新聞 省二</p> <p>○ 胎内環境が糖尿病リスクを決める 一小さく産んで大きく育てる危険性～ 早稲田大学ナノ・ライフ創成研究機構招聘研究員 福岡 秀興</p> <p>○ 食品機能からの食肉脂質の評価 宮崎大学農学部応用生物科学科教授 河原 聡</p>

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<p>第1回（第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（8月7日）</p> <p>○ タンパク質の栄養 東京大学大学院生命科学研究所特任教授 加藤 久典</p> <p>○ 筋肉内イミダゾールペプチドの生理作用とは？ 女子栄養大学教授 西村 敏英</p> <p>○ 機能性表示と食肉の成分 東京大学名誉教授 清水 誠</p> <p>第2回（第1回食肉学術フォーラム委員会）（9月3日）</p> <p>○ 食物アレルギーの現状と課題 千葉大学予防医学センター特任教授 下条 直樹</p> <p>○ 最近の高圧微生物制御技術について 新潟大学大学院自然科学研究科生命・食料科学専攻 西海 理之</p> <p>○ ウイルスによる人獣共通感染症と新型コロナウイルスについて 岡山理科大学獣医学部部長・教授 吉川 泰弘</p> <p>第3回（第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（9月18日）</p> <p>○ 高齢者の健康概念とその測定 桜美林大学名誉教授 柴田 博</p> <p>○ 牙層だらけのコレステロール仮説 東海大学名誉教授 大楠 陽一</p> <p>○ 健康寿命延伸に対する栄養と運動の相乗効果 国立健康・栄養研究所身体活動研究部長 宮地 元彦</p> <p>○ 認知症と栄養（ケトン食を含む） 帝京大学医学部精神神経科学講座教授 功刀 浩</p> <p>第4回（第2回食肉学術フォーラム委員会）（9月25日）</p> <p>○ 家畜改良における新しい技術の現状 元農林水産省畜産試験場長 松川 正</p> <p>○ GSF、ASFの現状と課題 北海道大学大学院獣医学研究科微生物学教室教授 迫田 義博</p> <p>○ 感染症対策に資する抗体・ワクチン研究の動向 国立感染症研究所免疫部部長 高橋 宣聖</p>	<p>第1回（第1回食肉学術フォーラム委員会）（7月30日）</p> <p>○ 培養肉の未来～次世代食肉生産技術の創出～ 東京大学大学院情報理工学系研究科教授 竹内 昌治</p> <p>○ COVID-19パンデミックについて考える-人獣共通感染症の克服に向けて- 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所特別招聘教授・統括 喜田 宏</p> <p>○ 鳥インフルエンザの現状と対策 北海道大学大学院獣医学研究科 微生物学教室 迫田 義博</p> <p>第2回（第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（8月30日）</p> <p>○ 脂防酸と生活習慣病-最近の脂防酸研究から- 茨城キリスト教大学名誉教授 板倉 弘重</p> <p>○ フレイル予防のための食・栄養 女子栄養大学栄養学部地域保健・老年学研究室教授 新開 省二</p> <p>○ 慢性腎臓病とたんぱく質栄養 徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床食管理学分野 竹谷 豊</p> <p>第3回（第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（9月27日）</p> <p>○ 食肉（ジビエ肉を含む）の安全性の確保 麻布大学獣医学部獣医学科公衆衛生学第二研究室教授 森田 幸雄</p> <p>○ 和牛肉のメタボローム解析-国産和牛肉の新たな差別化のための研究状況- 山形県農業総合センター畜産研究所 小松 智彦</p> <p>○ 肉質を決める筋繊維の構造 麻布大学獣医学部動物応用科学科准教授 水野谷 航</p> <p>第4回（第2回食肉学術フォーラム委員会）（10月4日）</p> <p>○ 腸内細菌の多様性および宿主の脳神経系への作用 東京大学名誉教授 上野川 修一</p> <p>○ ゲノム編集技術の畜産分野への応用 名古屋大学大学院環境学研究科教授 立川 雅司</p> <p>○ 胎生期環境と骨粗鬆症（増加する骨粗鬆症の予防を考える） 福島県立医科大学特任教授 福岡 秀典</p>	<p>第1回（第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（8月5日）</p> <p>○ 日本人の粗食長寿信奉-その系譜と超克への試み- 桜美林大学 柴田 博</p> <p>○ 食肉のフレイル予防効果 女子栄養大学地域保健・老年学研究室教授 新開 省二</p> <p>○ 老化・老年病予防のための栄養疫学研究 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター研究所 老年学・社会科学センター 老化疫学研究部長 大塚 礼</p> <p>○ アニマルウェルフェアに対する国際的な潮流について 東京農工大学農学部生物生産学科教授 新村 毅</p> <p>第2回（第1回食肉学術フォーラム委員会）（8月18日）</p> <p>○ COVID-19(SARS-CoV-2 新型コロナウイルス感染症)パンデミックに学ぶ 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所特別招聘教授・統括 喜田 宏</p> <p>○ コロナウイルスの変異と対策の評価 岡山理科大学獣医学部部長・教授/東京大学名誉教授 吉川 泰弘</p> <p>○ 家畜や食肉に影響を与えるコロナウイルス 日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科獣医感染症学研究室 准教授 氏家 誠</p> <p>○ 食の安全・安心 食の信頼向上をめざす会 代表/東京大学名誉教授 唐木 英明</p> <p>第3回（第2回食肉学術フォーラム委員会）（8月26日）</p> <p>○ 越境性動物疾病の現状と対策 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター客員教授 坂本 研一</p> <p>○ 腸の消化・吸収・代謝機能に関する研究の新展開 東京大学名誉教授/東京農業大学客員教授 清水 誠</p> <p>○ 国際流通のための食品安全規格 岩手大学名誉教授 比川 邦汎</p> <p>第4回（第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（9月8日）</p> <p>○ ベジタリアン・ヴィーガンの栄養状況 東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分野 助教 村上 健太郎</p> <p>○ 昆虫産業の食料・飼料利用に関する研究動向 元国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門長 島田 和宏</p> <p>○ 国産和牛肉のおいしさ要因の多様性 女子栄養大学栄養学部教授/広島大学名誉教授 西村 敏英</p>	<p>第1回（第1回食肉学術フォーラム委員会）（7月27日）</p> <p>○ 畜産物の価値とそれを支える生産システム 京都大学農学研究科応用生物科学専攻畜産資源学分野教授 廣岡 博之</p> <p>○ 牛からのメタンガス削減と今後の乳肉牛生産 北海道大学名誉教授 小林 泰男</p> <p>○ 食肉に関する食中毒の現状 内閣府食品安全委員会委員長 山本 茂貴</p> <p>第2回（第2回食肉学術フォーラム委員会）（8月4日）</p> <p>○ 鳥インフルエンザの彌断-家禽の感染被害の防遏とパンデミックインフルエンザに対する備えをどうする- 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所特別招聘教授・統括 喜田 宏</p> <p>○ 鳥インフルエンザの現状と対策-近年の日本と世界の大発生を振り返る 北海道大学大学院 獣医学研究科微生物学教室教授 迫田 義博</p> <p>○ 食肉生産の基礎となる生殖研究 京都大学名誉教授 南 直治郎</p> <p>第3回（第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（8月18日）</p> <p>○ アミノ酸シグナルを利用した高品質食資源の開発 東京大学大学院農学生命科学研究科 応用動物科学専攻 応用生命化学専攻 動物細胞制御学研究室教授 高橋 伸一郎</p> <p>○ 脂質の量と質からみた生活習慣病戦略-健康における脂防酸の役割- 筑波大学医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科 教授 島野 仁</p> <p>○ サルコペニア予防に対する栄養と運動の複合効果 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 宮地 元彦</p> <p>第4回（第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（9月21日）</p> <p>○ 和牛繁殖雌牛の子育て能力について 元国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門長 島田 和宏</p> <p>○ 肉の加熱処理-おいしさをつくる熱の科学- 日本獣医生命科学大学客員教授 佐藤 秀美</p> <p>○ 和牛肉のおいしさを引き出すオレイン酸の役割 女子栄養大学栄養学部教授/広島大学名誉教授 西村 敏英</p>

令和 6 年 度	令和 7 年 度	令和 8 年 度	令和 9 年 度
<p>第1回（第1回食肉学術フォーラム委員会）（7月18日）</p> <p>○ 日本の豚熱流行の疫学 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 越境性家畜感染症研究領域 疫学・昆虫媒介感染症グループ長 山本 健久</p> <p>○ 豚熱・アフリカ豚熱の現状 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 境性家畜感染症研究領域主席研究員 國保 健浩</p> <p>○ 人獣共通感染症のワクチンと治療薬の開発戦略 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所特別招聘教授・統括 喜田 宏</p> <p>第2回（第1回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（8月23日）</p> <p>○ 健康寿命延伸のための栄養と筋力の相互作用 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 宮地 元彦</p> <p>○ 高齢者の健康概念からみた健康寿命指標の評価 桜美林大学名誉教授 柴田 博</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザの近年の発生状況と国内発生要因ウイルスの性状 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 人獣共通感染症研究領域 新興ウイルスグループ長 内田 裕子</p> <p>第3回（第2回食肉と健康を考えるフォーラム委員会）（9月5日）</p> <p>○ 消化管における味物質の認識・受容の仕組み 東京農業大学応用生物科学部 食品安全健康学科 生体環境解析学研究室教授 岩槻 健</p> <p>○ 食肉のおいしさの客観的な理解と消費者が感じる好ましき 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 食肉用家畜研究領域 食肉品質グループ長 佐々木 啓介</p> <p>○ 胎生期低栄養環境と脂質代謝異常 -DOHaDドローヘッド説から考える- 福島県立医科大学特任教授／千葉大学客員教授 福岡 秀興</p> <p>第4回（第2回食肉学術フォーラム委員会）（10月3日）</p> <p>○ 糖鎖7/カ/ロ'-を基盤とした家畜家きんウイルスの迅速高感度検査法 鹿児島大学大学院 理工学研究科 糖鎖ナノテクノロジー共同研究講座 特任教授 隅田 泰生</p> <p>○ 養豚生産現場における防疫対策 バリューファーム・コンサルティング代表取締役 一般社団法人 日本養豚開業獣医師協会代表代行理事 呉 克昌</p> <p>○ 一般高齢者の早期低栄養リスクを評価する簡易7テストの開発と応用 女子栄養大学 地域保健・老年学研究室教授 新聞 省二</p>			